

検索結果を精度よく絞り込むための類似検索システムの開発

— 選ぶだけ —

チーフクリエイター; 有澤 悠紀 (キヤノン株式会社)
コクリエイター; 大西 雄一朗
(株式会社コンピュータシステムエンジニアリング)

目的

「“選ぶだけ”で“見える”」機能を実現し、簡単に絞り込みが行える検索システムの開発を目指した。
そのため、検索結果に対して、「**ユーザの指定した正解／非正解文書に基づき検索式を生成する**」機能と「**生成された検索式内のキーワードを選択すると、絞り込む前に、検索結果から除外される文書を視覚的に表示する**」機能を開発し、検索式の自動生成と妥当な検索式なのかどうかの絞り込みの確認が行える仕組みを実装した。

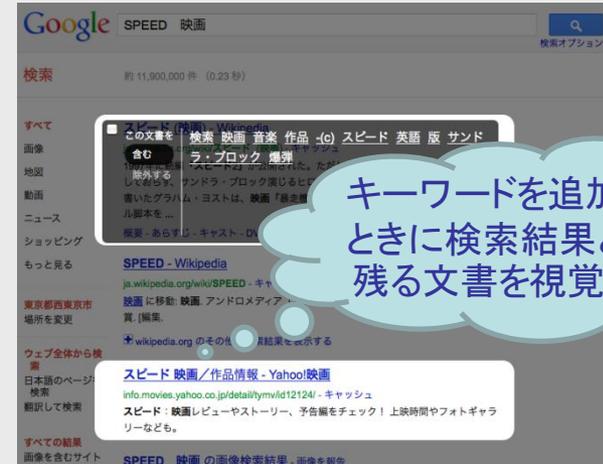
開発概要

「“選ぶだけ”で“見える”」を実現するために、クライアントはJavascriptで実装し、表示するキーワードの抽出などのバック処理はサーバで実装した。サーバで**ユーザが選択した文書情報をもとに次の候補となるキーワードを抽出し、クライアントはそのキーワードが結果が見えるようインタラクティブに表示する事**を実現した。

検索結果



ユーザの検索結果項目の選択/非選択に基づき、絞り込みキーワードが表示される



キーワードを追加したときに検索結果として残る文書を視覚表示

今後の見通し

ブラウザプラグインの公開、サイトの検索機能に埋め込む形での展開を進める。とくに電化製品などのショッピングサイトや旅行サイトなどは類似の商品が結果として表示されることが多く、多数の属性により目的の情報を絞り込む必要があるが、「“選ぶだけ”で“見える”」機能に対応することで利便性の向上が大きく見込まれる